

『ひどい奴』 作：ポチ子

自分の事をひどい奴だと思っている人はいない。

別に誰に言われたわけでもないけど、

自分は優しい人だと信じて疑わない。

だから、自分の放つ言葉は、

誰かを思いやり、励まし、元気づけるものである。

そうやって、誰も傷つけていないと過信する。

可哀想だとか、

すごいねとか、

大丈夫だよとか、

相手の事を思っているんだから、

それでいいだろうと、

言われた側の気持ちなんて考えもしない。

あなたが息をしているだけで、

傷つく人もいる。

それを無視して、

傷つく方が悪いんだと、

責任を相手に押し付けながら、

平気な顔をして皆生きているのだ。